※令和４年度以降入学生用

学校番号	410

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「家庭総合」（東京書籍）						
副教材等	自作プリント　など						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう
- 生活の様々な課題を授業を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。
- 多様な考えを学び、自分の考えを持ちましょう。
- 実験、実習などを通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。
- 学んだことを自分の生活の問題として捉え、生きる力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭生活及び福祉、保育、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る実践的な態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達や家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣生活、消費者教育、家庭経済などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や社会生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 自分・家族	○家庭科の学び方 ○自分を見つめる ・生涯発達の視点 ○目標を持って生きる ・将来の生活を展望する ・18 歳成人について ○青年期を生きる ・自己を知る ・ライフキャリア	a: 青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。 b: 青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント	授業観察 発表 プリントメモ
	第2章 自分・家族	○共に生きる家族 ○家族に関する法律 ・家族法クイズ	a: 生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識と技術を身に付けている。 b: 生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント	授業観察 発表 プリントメモ
2学期	第7章 衣生活	○巾着袋の製作 ・ミシンの使い方 ・ひもの通し方 ○エプロン製作 ・ミシン縫い ・手縫い（ボタン付け） ・刺し子	a: ミシンの扱い方や基礎縫いなどを理解し、実習を通して被服の製作ができる。 b: 被服製作において、着心地のよい被服の条件について考え、工夫している。 c: 被服材料や被服構成、縫製技術に関心を持ち、被服製作に取り組もうとしている。	定期考査 製作物	定期考査 授業プリント 実習レポート	授業観察 実習レポート

※令和４年度以降入学生用

2学期	第7章 衣生活	○人と衣服のかかわり ・衣服の機能 ○衣服素材の種類と特徴 ・衣服素材の種類・性能 ○衣服の選択から管理まで ・衣生活の計画と衣服の購入 ・界面活性剤の働き ・衣服の管理と保管	a: 被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b: 衣服の機能、衣服素材の種類と特徴などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 人と衣服のかかわりに関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 製作物	定期考査 授業プリント	授業観察 発表 プリントメモ
3学期	第9章・第10.章 消費・経済	○消費行動を考える ・消費行動と意思決定 ・適切な契約 ・消費者の権利と責任 ○経済的に自立する ・ライフスタイルと家計管理や経済計画の重要性	a: 現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 b: 消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c: 消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント	授業観察 発表 プリントメモ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度